

## 令和6年度 新潟県コンクリート診断士会 現地研修会概要

日時：令和6年11月7日（木） 10:45～16:00  
工程：10:45 上越大橋Ⅱ期線工事 現地集合  
10:45～11:15 上越大橋Ⅱ期線工事 見学  
11:30～12:00 神田高架橋上部工工事 見学  
14:00～15:30 旧妙高大橋撤去工事 見学  
16:00 現地解散

### 工事内容：

工事名：飯門田新田線 上越大橋 P3 橋脚補強工事

施工者：田中・相村特定共同企業体

設計者：開発技建株式会社

諸元：橋長 227.2m、幅員 20.0m（完成時）、支間長 45.3+45.1+3@45.2m  
鋼5径間連続プレートガーダー

工事名：一般国道253号三和安塚道路（仮称）神田高架橋上部工（その1）工事

施工者：オリエンタル白石・植木組・田中産業特定共同企業体

設計者：開発技建株式会社

諸元：橋長 770m、幅員 10.5m  
PC13+13 径間連続ポステン中空床版橋 鋼単純非合成少数主桁橋

工事名：妙高大橋上部工撤去工事

施工者：鹿島建設株式会社

設計者：大日本コンサルタント株式会社

諸元：橋長 300m、幅員 9.0m PC4 径間連続箱桁橋（プレキャストブロック工法）



# 県コンクリート診断士会が現場見学会

県コンクリート診断士会(会長:丸山久一長岡技術科学大学名誉教授)は7日、

会員12名がコンクリート補修等で知見深める

旧妙高大橋撤去工事などの3現場で

令和6年度の現場見学会を開催した。

この見学会は、会員におけるコンクリート構造物の診断技術向上を目的に毎年開催しているもので、今回は12名の会員が▶上越大橋II期線工事▶神田高架橋上部工事▶旧妙高大橋撤去工事の3現場を見学した。

参加者は、今後のコンクリート診断や補修に向けて知見を深めようと各現場の担当者の説明をメモにとるなど熱心に耳を傾けていた。

見学会終了後の講評で近藤治副会長は「今回の見学会には若手の会員も参加していただいたが、会員には様々

な現場を見学するとともに、その現場の歴史的な背景も学んでもらいたい。そして、今後ますます経験を積み、県土を守る診断士として活躍してもらいたい」と会員のさらなる技術力研鑽に期待を寄せた。

見学会のようす



出典：建設速報 2024年11月8日

## 知識と技術力の向上を図る

### 県コンクリート士会が現場見学会

新潟県コンクリート診断士会(丸山久一会長)は7日、現場見学会を上

向を目的に県内各地で

毎年行っているもの。雨も

よつとなった

この日は、13

人が参加し

た。

一行ははじ

めに、田中産

業・相村建設

JVが施工す

る「3・3・

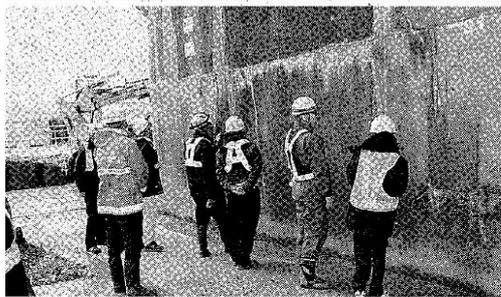
4 飯門田新田

線上越大橋P

3 橋脚補強工

事」の現場を

橋脚の状態などを観察する会員



訪問。同工事は、1級河川関川を渡河し、1983年に供用開始された上越大橋の橋脚を補強する

もので、概要は橋脚工(RCC巻立て工)1基、基礎工(場所打ち杭工φ1000mm)10本、仮締切工一式となっている。会員は寒風が吹きすさぶなか、工事の進捗状況を確認するとともに、作業を細かく観察したり、熱心に写真を撮った

りしていた。その後は、一般国道253号三和安塚道路(仮称)神田高架橋上部工(その1)工事(施工「オリエンタル白石・植木組・田中産業JV」、旧妙高大橋上部工撤去工事(同「鹿島」)の現場も見学した。

### 県内から4社が出展

13、14日開催「建設技術展・関東

日開催」において

13日と14日の2日間、

サンシャインシティ展示

ホールC・D(東京都)

で開かれる「建設技術展

2024(関東)において

新潟県内から4社の新技

術が出展する。

「Made in 新

・側溝上部改修工法(ネ

- ▽グラス工法
- ▽浅野木工所
- ・さまざまなシートに対応可能なシート止め杭(フラット杭)
- ▽レックス
- ・高輝度・LED矢印板(TWIN・VISI ON)
- ▽グリーン産業
- ・在来植物による飛砂防止緑化工法(はまごりマット)

出典：建設工業新聞 2024年11月8日